

第九回

猿楽の時代と

闘茶展

今年「食」文化を知る上で欠くことのできないお茶について詳しく取り上げます。今から約六百年前の衣・食・住をのぞいてみませんか。



「多賀大社参詣曼茶羅図」多賀大社所蔵

2013年7月2日(火)～7月21日(日)

会場：あけぼのパーク多賀

猿楽の時代、中世(十三～十四世紀頃)、能・狂言は「猿楽」と呼ばれ、各地の社寺を舞台に活動を行う猿楽座がありました。世阿弥の『申楽談義』によれば、当時近江国には、六つの座があり、そのうち一番古い歴史を持つ座が今の多賀町敏満寺にあった敏満寺座(北坂座)であると伝えられています。

今回の展示会では、「猿楽」を知っていただく為に、「猿楽の時代」の文化と風習に関する資料を展示し、この時代に流行した「闘茶」を開催いたします。

「闘茶」とは、鎌倉時代末期、公家、社寺、武家間で、茶の産地を飲み当てるという賭け事をした娯楽的な寄り合いのことです。豪華で優美な遊びであったと伝えられています。今回は、現代風にアレンジし、体験を通じて当時の時代に触れていただくことができます。当日は、景品も用意しておりますので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

近江猿楽多賀座

関連イベント「闘茶会」7月21日(日)11:00～15:00

会場：あけぼのパーク多賀 あけぼのカフェ



主催 近江猿楽多賀座
共催 あけぼのパーク多賀
協力 多賀大社・近江和装株式会社・多賀観光協会
お問い合わせ 近江猿楽多賀座事務局 山本(豪) TEL 0749-48-8111(多賀町役場代表)